（別紙4）　　令和　　元年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2192100135		
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター西濃		
所在地	岐阜県大垣市橘町2丁目9-1		
自己評価作成日	2019年11月8日	評価結果市町村受理日	2020年1月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2192100135-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人　旅人とたいようの会
所在地	岐阜県大垣市橘町1丁目3番地
訪問調査日	2019年12月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

楽しくご利用者様と笑顔・笑って毎日が過ごせる様に介護をしています。、毎月見学会を開催（1年間ボランテァさんがすすんで、予定を入れてくださいます。）、スタッフ全員で、（ご利用者様も手伝って頂ける方も見えます。）近隣住民宅へポステングをしています。10月19日にはニチイまつりを開催。今年は庭に植えた、野菜が多く収穫できました。現在は白菜・ネギ等を植えています。毎月の東幼稚園児来訪時には、ご利用者様が作られた、作品を贈っています。ご利用者様が一生懸命作品作りをされホームにいっぱい飾られています、ご本人様達も作品を見て、次は何を作ろうかと色々な意見を出されます。毎日午後おやつ前におがっき一体操を全員でしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

誠意と情熱・・を理念に、職員は利用者と目線をあわせ、笑顔で声かけ、楽しい1日を過ごせるよう支援している。毎月「見学会」に地域住民の参加を呼びかけ、利用者・ボランティアと一緒に交流している。事業所行事「ニチイ祭り」は家族同士の交流の場でもあり、近隣住民も参加し楽しみな1日となっている。ボランティアや幼稚園児、中学生の訪問があり、多くの人と触れ合い楽しめる事業所である。居間には、行事写真、利用者の作品（貼り絵・塗り絵・折り紙）が飾られている。利用者のできる事を見出し、食事の手伝い、洗濯物たたみ等一緒にしながら、馴染みの関係を深めるなど家庭的である。

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是・経営理念の唱和・皆で、考えた標語を唱和し、1ケ月の目標を個々に立てています又ミーティング・カンファにて確認をしています。	理念が実践できるように、朝礼で唱和し又会議でも確認している。。管理者と職員は利用者第一に、情熱を持って笑顔で接している。職員は個々に1ヶ月の実践目標を立てケアを行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ニチイまつり・見学会、年2回の消防職員を招き防災訓練・2ヵ月毎に避難誘導訓練を実施。東幼稚園児毎月来訪。近隣のボランティアさんを中心にお招きしています。散歩時には住民とお互いに声を掛け合いを心がけています。	毎月「見学会」の案内を地域住民に手渡しやポストに入れて招待し、ボランティアと一緒に楽しんだり介護相談を受けたりしている。神社の祭礼や幼稚園の運動会に出かけたり、散歩では工場の人に声をかけてもらったり交流している。ボランテイアの訪問も多く楽しみとなっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議・見学会・ニチイまつり開催時介護相談・擬似体験をしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回全員の出席を頂いて、認知症に付いてご意見を伺っています。又、毎回岐阜支店から課長が出向きニチイの方針等を話して頂いてます。又包括支援センターの方から現状報告も頂いています。現在の利用者様の状態を説明させて頂いています。	毎回事業所の現状を詳細に報告し、メンバーからは質問や意見をもらい運営に反映している。しかし、口頭や電話等で案内をしているものの家族の参加が得られていない。又、議事録も開示されていない。	家族が参加しやすいような工夫をして、意見をもらい運営に活かすようにして欲しい。又、メンバー構成員として、利用者・利用者家族を明記されたい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議記録を持参し、現状報告をしています。市のケアマネ会議にも積極的に参加をし、情報の共有と会議での内容を職員にミーテング時に報告しています。	書類の提出、現状報告、保険関連等不明な点を尋ねに出かけ、担当者と話しをする機会を作っている。シルバー人材センターの体験学習の受け入れにも協力している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員を配置。毎月支店に報告をし、ミーティング・カンファレンス時に確認をしています。身体拘束に付いての研修会もしています。特に言葉による身体拘束に付いて、カンファ・ミーティング時に話し合っています。	玄関は昼間は施錠せず開放している。契約時に身体拘束禁止について家族にも説明している。委員会を設置し、全職員に会議で報告し周知している。ベッド柵をしない方法、言葉使い等を話し合い拘束しないケアを確認している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	日々朝礼時・カンファレンス時虐待（特に言葉）に付いて、話し合い、確認をしています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を開催し確認をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	しっかりと説明をし、納得されたら申し込みをして頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には年1回の満足度調査を行っています。ご家族様の面会時は必ず、管理者が対応し日常の状態や様子を話させて頂いています。又状態の変化が有った時は電話で報告をさせて頂いています。	家族の訪問時には、利用者の近況を話し、要望を聞いている。ニチイ祭り時には家族から意見や要望（散歩や日光浴）を聞いている。全家族に年１回満足度調査を実施し、結果を会議で報告し、話し合いながら意見を反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員のきずきや提案を日常業務中、ミーティングで話し合いをし意見を反映させています。	管理者は、職員に会議時や日常いつでも提案・相談等云える事を伝え、聞いている。ビデオの購入、テラスの修理等の要望に応じ働きやすい体制を作っている。職員は法人の研修会に参加し、理念や接遇等の学びや他事業所職員と交流できる場がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修会のパンフレットは事務所に掲示、スタッフに呼びかけています。キャリアアップ・資格を勧めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の参加は何時でも参加できるようにシフト変更も出来る様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワークを利用、勉強会には積極的に参加しています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	全スタッフが同じ目線・笑顔・傾聴を心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の要望をしっかり、傾聴し納得を頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	過剰な介護にならないよう、ご家族様と相談をして、決めさせて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	同じ目線で、対応。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何時でも現状報告・状態説明を直ぐに電話連絡をしています。		
20	（8）	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	初回の面談と日常生活から、日常に買い物に行けれていた場所を把握し近くの店での食事会をしたり、ご家族や友人の面会や外出する利用者様も見える。	友人知人の訪問があり、居室でもてなし再訪をお願いしている。手土産に頂いた飾り物を玄関などに飾っている。馴染みの美容院、洋品店等へは家族に同行をお願いしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体調に合わせ、無理の無いように、レク・体操・お手伝いをして頂いています。1階2階のお客様の交流会も月４回はしています。テラスでのひなたぼっこ・散歩・カラオケも合同でしています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	解約後も相談を受けています、又、ご家族様も思い出して、見学会・談話に見えます。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員はケアする中で、利用者様の思いを把握し、朝礼・ミーティングで話し合いをし、共有している。	入浴時や日常個別で話しをしたり、訊ねたり、何気ない言葉から把握したりしている。料理、野菜作り等得意なことを聞きだし、一緒に作業をしている。困難な人には、表情や仕草からの把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様・ご本人様と良く話をさせて頂いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々状況把握をさせて頂いてます。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス・ミーティング時に話し合いと計画を見直しをしています。ご家族様・主治医の意見を取り入れ介護計画を作成している。	月１回モニタリングを行い、会議で介護記録、連絡帳等も参考に見直している。家族・医師の訪問時に意見・要望を聞き、又、必要時にはこちらから電話して尋ねて作成している。状態の変化時はその場で見直し変更している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	管理日誌・介護記録・全体の連絡帳・個々の連絡帳を活用し情報の共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護タクシーを利用しています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣への散歩・近くのお店へ一緒におやつの買出し、ご利用者様からの希望を聞いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月２回の訪問診療・緊急時の往診をお願いしています。	かかりつけ医は、家族の意向に合わせているが、多くは協力医に変更している。専門医への受診は家族にお願いし状況を口頭で伝えている。週1回訪問看護師の受診、月１回歯科衛生士の訪問指導を受けている。適切に医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制を取り週１回訪問看護師の状況観察・医療行為をして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリー・面会をしています、又退院後も連携室・病棟へも連絡をしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期には事業所の方針をご家族様に説明し、その時々の状態に合わせて話し合い、医師の意見を踏まえ、職員・家族様と情報を共有している。	契約時に、終末期について事業所の方針を説明している。食べられなくなった時点で、医師、家族、事業所で話しあい、状態に合わせ、その都度話し合いながら支援している。家族の泊まりの部屋を準備している。職員は救急、看取りの対応の学習をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに従い、ミーティング時に研修会をしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練・消防訓練・避難誘導をしています。民生委員・町内の方の協力をお願いしています。又二ヵ月に1回の自主練習をしています。	年２回の避難訓練を実施している。徒歩で避難する訓練をしたり、水害を想定して2階へ避難訓練をしたりしている。その後、職員は話し合いをし、火災時の手順も確認している。職員の連絡網の完備、備蓄もしている。しかし、夜間想定訓練がされていない。	実際の夜間訓練はしにくい事情もあるが、職員２名の想定で昼間に訓練されたい。待機職員の出動態勢の確認も期待する。又地域住民の協力が望まれる。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重する事、馴れ合いにならない様に、お名前で、さんずけで呼ばせて頂いています。利用者様に手伝いをして頂いた時は感謝の言葉をかけています。	常に利用者と同じ目線で話すことを心がけている。利用者のできる事を尊重し支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日、聞く様にしています、この頃は、ご利用者様からの希望が多くなりました、決まった方にならない様に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様一人ひとりに合わせた介護を全員でしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	鏡を見て、笑顔を作る事を話しています。今年度はコスモセラピーにて、化粧・マネキュアをして頂き、その様子と散歩の様子をローカルテレビに出ました。又外出時ご自分で化粧をされます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で、作る物、野菜を聞いたり、食べたい物を聞いたりしています、ご利用者様と一緒に盛り付けはしていますが食事は一緒に食べてはいません、食事に集中して頂きたい、個々に飲み込みがしっかりされているかの確認の為。	日頃聞いた利用者の好みを取り入れ献立をきめ調理している。時々、朝食にパン食を組み入れている。嫌いな食材も、食べてもらえるよう工夫し調理している。食事中は、職員が見守りと声かけをして食が進むようにしている。食後は他の職員も参加し、声かけや会話で和らいだ雰囲気である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量・排泄確認を毎日チェック、介護記録に記入しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアー・就寝時には、必ず、入れ歯をつけ置きします。歯ブラシ・歯間ブラシを使用しています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄時間の把握にて、トイレ誘導をし、オムツからの脱却に努めています。	昼夜ともトイレでの排泄を心がけている。一人ひとりの排泄リズムを把握し、排泄記録を工夫して、失敗しない誘導を心がけている。夜間も習慣や目覚めに合わせて誘導している。本人の現状にあわせ、紙パンツから布パンツに移行できるよう取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルト・植物繊維の多い食材の利用、体操・歩行練習・水分量の支援をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回入浴回数の確保、曜日の指定は有りますが、本人様の希望が強い時はこだわらず臨機応変に入浴をして頂いています。	一人ひとり湯を入れ替えて入浴している。湯温や順番も利用者の希望に合わせ、ゆっくりの入浴となるよう心がけている。柚子湯等季節の湯にしたり、会話をしながら楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様の対応になります、無理に寝かす事はしていません。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全スタッフが薬の情報を共有し、何の為なのかを把握し、服薬漏れが無いように二重チェックをしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	傾聴し出来るだけ添える様にしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は散歩・ベランダでの日光浴、草むしり、を楽しんで、頂いています、ご家族様との外出・会食の協力を頂いています、近隣のお店へ、一緒に行ける様に勤めています。	日常は庭の草取りや花の水遣り、ベランダで日光浴をしている。買い物したり、桜・梅の季節には公園におにぎりを持って出かけたりしている。又、自宅に外泊や外食、買い物に出掛けている。バス旅行を計画している。	

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い帳にご家族様からお金を頂き、購入希望が有った時は、ご家族様に確認後ご利用者様と買い物に行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙はお小遣い帳から購入、電話はご家族様に確認後こちらからかけさせて頂く事も有ります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の思い通りにしています。	玄関には訪問者からの「つり雛」や「手作り地蔵」が飾られている。利用者と一緒に作った、季節の作品、塗絵、写真等を掲示し、訪問者に話しのきっかけを作り、明るく楽しめる雰囲気を作っている。室温、照明、臭気もなく適切である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ・TVを見たり、会話を楽しまれたり、ゲーム・塗り絵をされて見えます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の思い通りにさせて頂いています。お経も個人差が有るので、居室にてあげて頂いています。	タンス、茶箪笥、鏡台、机・椅子等馴染みの物を本人と話し合いながら配置している。ラジオ、新聞、化粧品等の日用品や、作成中と見られる折り紙細工の作品もあり、生活感が見られる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全館バリアフリー・手すりを利用し、転倒予防・下肢筋力アップに強めています。		

（別紙4）　　令和　　元年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2192100135		
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター西濃		
所在地	岐阜県大垣市橘町2丁目9-1		
自己評価作成日	2019年11月8日	評価結果市町村受理日	2020年1月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2192100135-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人　旅人とたいようの会
所在地	岐阜県大垣市橘町1丁目3番地
訪問調査日	2019年12月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に	2192100135				
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社是・経営理念の唱和・皆で、考えた標語を唱和し、1ケ月の目標を個々に立てています又ミーティング・カンファにて確認をしています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ニチイまつり・見学会、年2回の消防職員を招き防災訓練・2ヵ月毎に避難誘導訓練を実施。東幼稚園児毎月来訪。近隣のボランティアさんを中心にお招きしています。散歩時には住民とお互いに声を掛け合いを心がけています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議・見学会・ニチイまつり開催時介護相談・擬似体験をしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回全員の出席を頂いて、認知症に付いてご意見を伺っています。又、毎回岐阜支店から課長が出向きニチイの方針等を話して頂いてます。又包括支援センターの方から現状報告も頂いています。現在の利用者様の状態を説明させて頂いています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議記録を持参し、現状報告をしています。市のケアマネ会議にも積極的に参加をし、情報の共有と会議での内容を職員にミーテング時に報告しています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員を配置。毎月支店に報告をし、ミーティング・カンファレンス時に確認をしています。身体拘束に付いての研修会もしています。特に言葉による身体拘束に付いて、カンファ・ミーティング時に話し合っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	日々朝礼時・カンファレンス時虐待（特に言葉）に付いて、話し合い、確認をしています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を開催し確認をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	しっかりと説明をし、納得されたら申し込みをして頂いています。		
10	（6）	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には年1回の満足度調査を行っています。ご家族様の面会時は必ず、管理者が対応し日常の状態や様子を話させて頂いています。又状態の変化が有った時は電話で報告をさせて頂いています。		
11	（7）	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員のきずきや提案を日常業務中、ミーティングで話し合いをし意見を反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修会のパンフレットは事務所に掲示、スタッフに呼びかけています。キャリアアップ・資格を勧めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会の参加は何時でも参加できるようにシフト変更も出来る様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワークを利用、勉強会には積極的に参加しています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	全スタッフが同じ目線・笑顔・傾聴を心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の要望をしっかり、傾聴し納得を頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	過剰な介護にならないよう、ご家族様と相談をして、決めさせて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	同じ目線で、対応。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何時でも現状報告・状態説明を直ぐに電話連絡をしています。		
20	（8）	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	初回の面談と日常生活から、日常に買い物に行けれていた場所を把握し近くの店での食事会をしたり、ご家族や友人の面会や外出する利用者様も見える。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体調に合わせ、無理の無いように、レク・体操・お手伝いをして頂いています。1階2階のお客様の交流会も月4回はしています。テラスでのひなたぼっこ・散歩・カラオケも合同でしています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	解約後も相談を受けています、又、ご家族様も思い出して、見学会・談話に見えます。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員はケアする中で、利用者様の思いを把握し、朝礼・ミーティングで話し合いをし、共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様・ご本人様と良く話をさせて頂いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々状況把握をさせて頂いてます。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス・ミーティング時に話し合いと計画を見直しをしています。ご家族様・主治医の意見を取り入れ介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	管理日誌・介護記録・全体の連絡帳・個々の連絡帳を活用し情報の共有をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護タクシーを利用しています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣への散歩・近くのお店へ一緒におやつの買出し、ご利用者様からの希望を聞いています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月２回の定期往診・緊急時の往診をお願いしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制を取り週１回訪問看護師の状況観察・医療行為をして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリー・面会をしています、又退院後も連携室・病棟へも連絡をしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期には事業所の方針をご家族様に説明し、その時々の状態に合わせて話し合い、医師の意見を踏まえ、職員・家族様と情報を共有している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに従い、ミーティング時に研修会をしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練・消防訓練・避難誘導をしています。民生委員・町内の方の協力をお願いしています。又二ヵ月に1回の自主練習をしています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重する事、馴れ合いにならない様に、お名前で、さんずけで呼ばせて頂いています。利用者様に手伝いをして頂いた時は感謝の言葉をかけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日、聞く様にしています、この頃は、ご利用者様からの希望が多くなりました、決まった方にならない様に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様一人ひとりに合わせた介護を全員でしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	鏡を見て、笑顔を作る事を話しています。今年度はコスモセラピーにて、化粧・マネキュアをして頂き、その様子と散歩の様子をローカルテレビに出ました。又外出時ご自分で化粧をされます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で、作る物、野菜を聞いたり、食べたい物を聞いたりしています、ご利用者様と一緒に盛り付けはしていますが食事は一緒に食べてはいません、食事に集中して頂きたい、個々に飲み込みがしっかりされているかの確認の為。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量・排泄確認を毎日チェック、介護記録に記入しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアー・就寝時には、必ず、入れ歯をつけ置きします。歯ブラシ・歯間ブラシを使用しています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄時間の把握にて、トイレ誘導をし、オムツからの脱却に努めています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルト・植物繊維の多い食材の利用、体操・歩行練習・水分量の支援をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回入浴回数の確保、曜日の指定は有りますが、本人様の希望が強い時はこだわらず臨機応変に入浴をして頂いています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様の対応になります、無理に寝かす事はしていません。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全スタッフが薬の情報を共有し、何の為なのかを把握し、服薬漏れが無いように二重チェックをしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	傾聴し出来るだけ添える様にしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は散歩・ベランダでの日光浴、草むしり、を楽しんで、頂いています、ご家族様との外出・会食の協力を頂いています、近隣のお店へ、一緒に行ける様に勤めています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い帳にご家族様からお金を頂き、購入希望が有った時は、ご家族様に確認後ご利用者様と買い物に行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙はお小遣い帳から購入、電話はご家族様に確認後こちらからかけさせて頂く事も有ります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の思い通りにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ・TVを見たり、会話を楽しまれたり、ゲーム・塗り絵をされて見えます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の思い通りにさせて頂いています。お経も個人差が有るので、居室にてあげて頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全館バリアフリー・手すりを利用し、転倒予防・下肢筋力アップに強めています。		